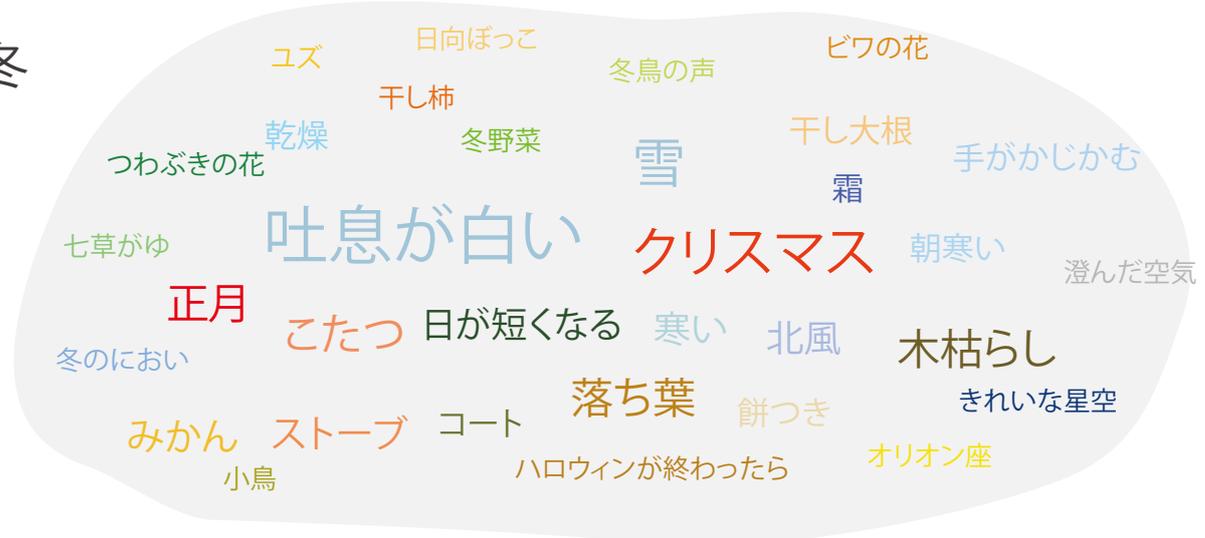


秋



冬



column

春はテレビから

約1年かけて2000人強の方から回答をいただきました。イベント会場でのアンケートや聞き取り、地域でのワークショップなどなど県内各地、お答えいただいた皆様も実に個性的で多様でした。

自然と暮らしの接点を探り、暮らしの中で接する生きもの・風物・習慣等を『モノサシ』とできないか？この問いかけから見てきたこと、考えさせられたことはたくさんあります。その中で最も衝撃的な答えは、春先に高知市近郊のベッドタウンで開催されたイベントにお邪魔した時に遭遇しました。

「桜はテレビで見る。」

会社勤めを定年退職されたと想像される男性。出歩くこともほとんどなく、日中はもっぱらテレビのお守り。「することもなし、お金もないから出歩かない。春が来たところで、空調のある部屋にいれば年中同じ。」大都会ならまだしもまさかの高知県でこの答えが・・・。

もしかしたらこの高知といえどもそういう時代になりつつあるのかもと驚きました。